



夏季展示

青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミストPARTⅢ

吉川英治と市所蔵の文豪たち



草思堂洋館内部（国登録有形文化財）



府中競馬場にて、左から菊池寛、吉川英治、舟橋聖一（昭和15年）



『宮本武蔵』（船島仕合）挿絵原画
石井鶴三 画

2023年 7月8日(土) ▶ 9月24日(日)

開館時間	10：00～17：00（最終入館16：30まで）
休館日	毎週月曜日（※7/17(日)・9/18(日)は開館、7/18(月)・9/19(月)は休館）
観覧料	大人500円 小・中学生200円（20名以上団体 大人400円 子ども150円） ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方は手帳の提示で無料 ※青梅市内の小・中学生は土・日・祝日無料

主催：青梅市 協力：青梅信用金庫 指定管理者：株式会社フクシ・エンタープライズ
会場：青梅市吉川英治記念館
〒198-0064 東京都青梅市柚木町1-101-1
TEL:0428-74-9477 FAX:0428-74-9478

青梅市
吉川英治記念館
Yoshikawa Eiji Memorial Museum
国登録有形文化財 旧吉川英治邸(草思堂)

青梅市吉川英治記念館では「文学の力や記憶をこの先の未来へと継承していくこと」をテーマとしDMM GAMESより配信中のゲーム『文豪とアルケミスト』と3年目のタイアップ展を実現いたしました。

本展示では、吉川英治をはじめ、英治と親交があった菊池寛、川端康成、室生犀星、直木三十五など市が所蔵する文豪たちの直筆原稿や書簡等を紹介いたします。

また、今回は本市内に草庵を構えた羽村市出身の中里介山にも焦点を当て、介山の代表作『大菩薩峠』に登場する青梅ゆかりの地なども紹介します。



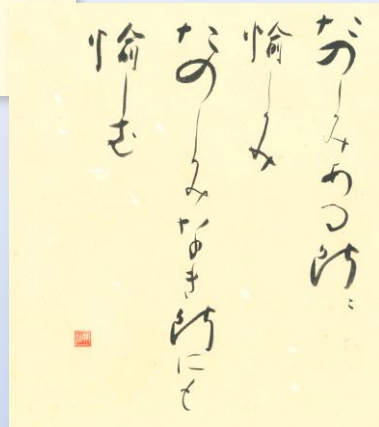
『宮本武蔵』
(大阪朝日新聞連載「空の巻」第255回挿絵原画)
石井鶴三 画



大菩薩峠の内 龍之介 石井鶴三 画
絵葉書 (春陽会第五回展覧会出品)



色紙 (昭和20年)
吉川英治 作



色紙 吉川英治 作



吉川英治 (昭和25年)



DMM GAMES「文豪とアルケミスト」 「再びこの世に転生せし文豪たちが綴る、 もうひとつの文学譚」

DMM GAMES(PCブラウザ/iOS/Android)にて好評配信中の文豪転生シミュレーションゲーム「文豪とアルケミスト」。2016年11月にPCブラウザ版、2017年6月にアプリ版を配信し、登録者数は現在までに150万人を突破。

キャラクターに史実の関係性を反映させ、現世に転生し再会したらどうなるか、同じ時代に生きていながら会えなかった人達が実際に会っていたらどんな関係を築くのかをコンセプトにゲームが作られています。

期間中は中里介山、直木三十五、
吉川英治の等身大パネルを展示！



中里介山



直木三十五



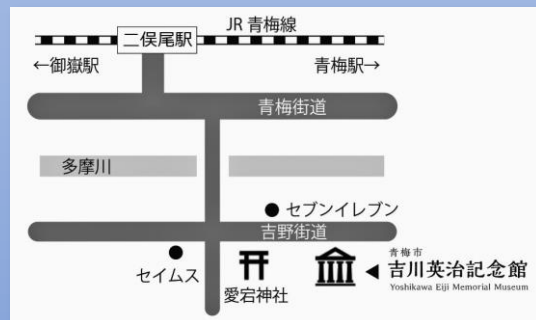
吉川英治

◆期間中のイベント◆

青梅市吉川英治記念館 SNSフォトコンテスト	7月8日(土)▶ 9月24日(日)	記念館の季節を感じる写真を、SNSにて募集します。
Ome夏フェス inミュージアム	7月30日(日)	玉堂美術館との相互コンサートのほか、記念館では人形劇も開催します。
夏休み自由研究サポート	7月22日(土)▶ 8月27日(日)	記念館で楽しく学べるワークシートを配布します。
英治忌	9月7日(土)	吉川英治の命日に合わせて、ゆかりの品を展示します。当日のみ観覧料は無料となります。

※変更があった場合は、事前に当館ホームページでお知らせいたします。

当館ホームページ <https://ome-yoshikawaeiji.net/>



- ◆JR青梅線「二俣尾駅」下車徒歩約15分
- ◆JR青梅線「青梅駅」下車⇒都営バス梅76系統「吉野行」乗車⇒「柚木」停留所下車徒歩約1分

青梅市吉川英治記念館